



椅子が置かれ、ちょっとした憩いの場も兼ねる玄関ホール。玄関収納は構造材の間を活用し、開き扉を設置。すっきりとした納まりで、まるで壁のようだ。

ホームギャラリー 千葉県船橋市 S邸

夢が広がる木箱の家



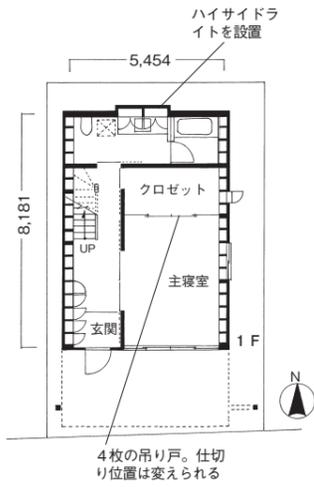
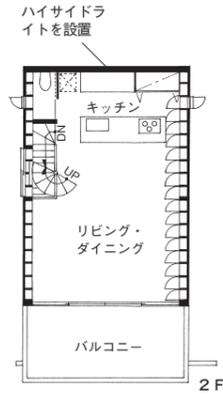
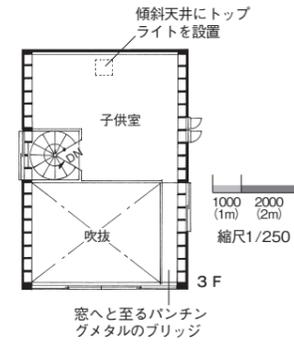
約90cm×3mと大きいステンレスのアイランド型キッチン。フロア全体を見渡せ、家事や育児をしながら夫婦で、親子で、コミュニケーションが弾む。



基礎を立ち上げたコンクリートがデザイン的にも生かされた主寝室。コンクリート床は、夏は地中の涼しさを、冬は床暖房の暖かさを効率よく伝える蓄熱体でもある。

(右写真) 両サイドの壁を耐力壁とする構法により、確かな耐震性を備えながら、2階LDKでは約30畳大の大空間が実現。45.5cmピッチで並ぶ構造材は「どこでも仕切れる」柔軟さを示す。内装材で覆わない仕上げは木材が乾燥しやすいというメリットもある。





住まいの東・西面は45.5cmピッチで構造材が並ぶ耐力壁となっている。構造材の間隔は収納スペースに活用している。

DATA

千葉県船橋市 S邸
家族構成／夫婦＋子供1人
総費用／約4400万円
土地約2200万円
建物約2200万円(外構・設備等を含む)
ローン借入額／約4000万円
(35年返済、3年固定の変動金利型)
敷地面積／95.37㎡(28.84坪)
延床面積／120.41㎡(36.41坪)
1F床面積／44.61㎡(13.49坪)
2F床面積／44.61㎡(13.49坪)
3F床面積／31.19㎡(9.43坪)
構造・工法／木箱212構法
設計・施工／西瀬建築設計事務所
☎03-3247-3041
http://www.h6.dion.ne.jp/~kkasai/



暮らしの変化を受け止める木の大きな空間

子供のびのびと育つ「めいっばい」開放的な空間を

「この家に暮らして2年。床の木の色も少しずつ変わり、私たちに馴染んできたようです」と語るSさん夫妻。そのかたわらで、住まいと同年に誕生した2歳の娘さんが元気よく走りまわります。

共働きの夫妻が新居の計画をスタートさせたのは4年前。子育てのことを考え、「子供がのびのびと育つように、めいっばい広い空間のある木の住まいを」と希望されました。長く安心して住むために地震への強さは不可欠。土地購入からの家づくりだったので、コストを抑えるという課題もありました。

そんな夫妻の思いを十二分に受け止めたのは、「木箱212」という木造構法。門型のフレームをつくり、建物の両サイドに構造材を並べて耐力壁とするこの構法は、内部に壁・柱を入れなくても十分な耐震性が確保されるため、開放的な空間をつくることができ、間取りの変更も容易。「建てたあとは住まい手がつくりあげていくという設計者の暮西氏の考え方にも共感できました」とご夫妻。

規格のツーバイ材を用いる、施工に手間がかからない、内装材が不要という点でもローコストになりました。

構造材に覆われたフレキシブルな大空間

背後に斜面を控えるS邸では、土留めの擁壁と一体に基礎、1階の床・腰壁がつけられています。そのため玄関と主寝室は、無機質なコンクリートと木材が調和したモダンな佇まいを見せます。

2階はフロア全体がLDK。そして吹き抜けを介して子供室のある3階まで大きく広がる構成。両側の壁と天井の構造材、南面の大きな窓が大空間をさらに迫力あるものとしています。木の空間の温もりに、クールな素材感が融合するステンレスのキッチンは「LDから自然に調理に参加でき、家事と育児の両方を楽しめる」アイランド型です。

45・5cm刻みで並ぶ構造材は、どこでも仕切れるフレキシビリティを示しています。「LD内に書斎をつくったり、子供室を2室にしたり。もうすぐ2人目が生まれるので、これからどう使うか楽しみです」とご主人。

LDKは南側全面が窓。バルコニーはリビングの延長空間として使える。

ガルバリウム鋼板の外壁と大きく突き出したバルコニーが個性的な外観。



ハイサイドライトからの光が、白い壁や鏡に反射して広がる明るいサニタリ。浴室ドアはガラス、床は玄関から続くコンクリート。



リビング・ダイニングとオープンでありながら、隠れ家感覚もある子供室。傾斜天井のトップライトが緑豊かな眺めを取り込む。

撮影／田口哲也

資金計画をするのは暮らしと真剣に向き合うこと

Sさん夫妻は、まず2100万円のローンを組んで土地を購入。その土地を担保に、建物分の1900万円を借り入れました。

S邸は土地・建物合わせて総費用4400万円を実現。建築費を抑えるために、夫妻もコストダウンに参加。「プランを再検討し、水まわりの位置を変更したり、窓の数を減らしたりしました。これが、自分たちに、本当に必要なものを問い直すきっかけになりました」と奥さま。ご主人は、バルコニーの床や収納扉などをDIYで制作し、住まいの味となっています。

現在、毎月の返済額は12万円弱。「繰り上げ返済をして、遅くとも定年までには返し終わりたい」とご主人。「大変だけれどこの家のためなら頑張ろうと思える」と語ります。